

編集発行：山口県立大学同窓会桜圃会

《事務局》〒753-8502 山口市桜島3-2-1

TEL&FAX083(925)7485 振替口座01570-2-25095

メールアドレス ouhokai@yamaguchi-pu.ac.jp

印刷：(株)マルニ

O u h o k a i - K a i h o u

桜圃会 会報

Vol.66

平成30年3月1日発行



移りゆく四季

平成二十九年はあわただしい年でした。

仁保出身の私小説家嘉村磯多と岩国出身の情熱作家宇野千代の生誕百二十年、湯田出身の詩人中原中也生誕百十年と重なり、様々な行事が催されたのです。

特に中也の場合、記念館では「コミックのなかの中也」という特別展に、若い女性群の入館者が殺到し、一時大混乱となる騒ぎでした。全員中也ファンというわけではなく、アニメ系のグッズ買いがお目当てなのです。

真面目な研究者の間では、中也文学の理解者ではない人ばかりが増えるのはいかげなものか、と疑問を呈する向きもあり、困ったような嬉しいような状態続きでした。

平成三十年は、明治維新百五十年です。また天皇ご退位の準備もあったりして、全国的にも大きい節目の年となるでしょう。

会長 福田 百合子



大学としても、大事な革新の時期を迎えることとなりました。国道を越えた山側への校舎移転工事も進み、第三期中期報告がなされました。災害基準などの変更により、工期が多少遅れてはいるものの、着実に実現の姿が見えてきているところです。

先日来、新校舎から山口盆地の美しい風景を眺めさせて貰いました。つくづく、新しい時代の到来を感じたことです。

桜圃会としても、大学と共に大きく変革の曲り角に来ているとの感を深くしました。

卒業生の皆様方に支えられながら、桜圃会は大学と共に成り立っています。男子学生たちの躍動の姿を見る時、女子大時代からの変遷を改めて強く受けとめるのです。

移りゆく四季、穏やかな宮野の里がいつまでも明るく輝くことを祈りつつ、お互いに努力しようではありませんか。

(昭和23年国語卒)